

熊本県透析施設協議会スタッフ講習会

富田正郎

平成 29 年 7 月 30 日/熊本県「熊本県透析施設協議会スタッフ講習会」

講習会において行われた 8 つの講義について、以下に報告する。

講義① 「慢性腎不全の療法選択」

熊本赤十字病院外科外来看護師 杉本美保
慢性腎臓病の定義と分類を概説し、末期腎不全の療法選択（血液透析・腹膜透析・生体腎移植・献腎移植）について解説した。血液透析については拡散と限外濾過について説明し、腹膜透析については交換方法を解説し、また腹膜透析と血液透析の違い、メリット、デメリットを比較した。腹膜透析は合併症予防のため約 6～7 年で血液透析へ変更する必要があることを説明した。腎移植については、二つの移植について概説した後、献腎移植の登録の流れと実際に支払う金額を具体的に解説した。生体腎移植については血液型不適合と不一致の違いを解説し、レシピエントおよびドナーの適応基準を解説した。

講義② 「検査結果の見方と合併症～循環器～」

熊本大学腎臓内科 栗原孝成
わが国における慢性透析患者の現状から心血管合併症が多いことを解説した。透析患者の死亡原因の第 1 位が心不全、第 4 位が脳血管障害、第 5 位が心筋梗塞と、一般人と比べて心血管合併症による死亡が感染症と合わせて非常に多いことを述べた。心血管合併症が多い原因について概説し、対策について解説した。高血圧の管理について触れ、透析中だけでなく、非透析日の家庭血圧も重視すべきとした。降圧薬の使い方に

についても解説した。低血圧、発作性心房細動についても概説した。最後にドライウエイトについて解説した。

講義③ 「腎性貧血」

熊本医療センター腎臓内科 西口佳彦
腎性貧血の発生する機序の解説を行った。血液分化の流れマップを示し、赤血球造血における Epo と鉄の関与部位を示した。エリスロポエチン製剤の歴史について述べ、初代のエリスロポエチン製剤と第二世代の ESA 製剤の違い、特に血中濃度半減期について解説した。また静注と皮下注の違いも解説した。貧血の基礎知識について、ヘモグロビン、ヘマトクリット、MCV、MCHC、鉄、フェリチン、トランスフェリン、TSAT などについて説明した。貧血治療のガイドライン（2015）について解説した。腎性貧血治療の目標 Hb 値を血液透析患者、腹膜透析患者ごとに示し、ESA 投与法の経路にふれた。また鉄の補充方法について解説した。

講義④ 「透析患者の栄養」

熊本中央病院栄養科 村岡まき子
透析療法における栄養管理の目的を解説し、三大栄養素についてふれた。個人の適正エネルギー量は、性別、年齢、生活活動強度により異なるため、個々の症例に応じてテーラーメイドに対応することが必要であることを強調した。また、塩分、水分、カリウムの解説を行った。カルシウムについては、日本人のカルシウム摂取の現状が不足していることを述べ、摂り方の

注意を解説した。リン制限について触れ、欧米と異なり、日本ではリンについて表示義務がない点が問題であることに触れた。減塩方法については、いろいろな具体策を提示した。

講義⑤ 「バスキュラーアクセス」

熊本病院腎臓内科 石田秀太

バスキュラーアクセスの種類と特徴について解説した。自己血管内シャント、人工血管内シャント、上腕動脈表在化、カフ型（長期留置型）カテーテルについて述べた。穿刺のさいのポイント、抜針・止血時のポイント、合併症、エコーガイド下穿刺について解説した。シャント機能をモニターするプログラムの確立が推奨されている点を強調した。

講義⑥ 「透析患者さんとの接し方」

くまもと心理カウンセリングセンター 岡崎光洋

透析室スタッフが透析患者とどのように接したらよいか、臨床心理士の立場から90分にわたって解説した。スライドを用いず口頭で、わかりやすく、臨場感を持って解説した。

講義⑦ 「透析患者に使う薬の知識」

熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター・

臨床薬理学分野 平田純生

CKD患者における副作用経験薬を頻度の高い順に解説した。酸化マグネシウムの血清Mgへの影響、グリベンクラミドによる遷延性低血糖、遷延性低血糖を起こす活性代謝物について解説した。モルヒネ、ワルファリン、プレガバリン、サインバルタの副作用についても紹介した。各種リン吸着剤の副作用、特にイレウス、結腸壊死・穿孔について説明した。

講義⑧ 「抗凝固薬・ダイアライザー」

江南病院臨床工学科 入江記代

抗凝固薬のメカニズム、抗凝固薬の種類と作用機序について概説した。また、血液凝固・止血のメカニズム、二次止血の概要を説明した。抗凝固薬の使い分けについても説明した。ダイアライザーの構造、機能、材質、機能分類、選択方法について解説した。ダイアライザーの拡散現象や濾過について解説し、実際の濾過実験の様子も紹介した。

講義に先立ちプレテスト、また講義後のポストテストを準備して、知識の整理に役立つように配慮した。

*

*

*